



檜邑まらまらだより



「Challenge (チャレンジ) !」

「Colorful is wonderful (カラフル イズ ワンダフル) !」

檜邑小学校

検索 ←

<https://www.city.maniwa.lg.jp/site/kashimura-es/>

真庭市立檜邑小学校

第25号

令和7年10月27日

校長 山本 信子 発行

ようやく秋らしくなってきました



満天の星空に美しい虫の音が響き渡る季節となりました。10月も半ばを過ぎた頃から本格的な秋の訪れを感じる気温にもなってきました。朝晩は、寒いと感じる日も多くなっています。読書の秋、スポーツの秋、芸術の秋・・・何をするにも良い季節ですね。そして、忘れてはいけない食欲の秋。「食べる」という字は「人を良くする」と書きます。「食べることは生きること」でもあります。給食では、秋の食材を使ったり、秋を感じられる献立だったり、食べることから季節を感じることができます。ありがたいことです。

季節のお花を永田様が届けてくださいました。華やかな秋のお花を見ると、気持ちも明るくなります。松本様が、ざくろの実を4段階（開くまでの過程）に分けて持ってきてくださいました。いつも心を寄せてくださり、本当にありがとうございます。



楽しかった 秋の遠足 ～ 令和7年10月24日(金) 鳥取(倉吉)への旅 ～

絶好の遠足日和に恵まれ、大山乳業・なしっこ館・倉吉パークスクエア屋外遊具に全員そろって行ってきました。今年度から余野小学校と合同で行くことにしました。交流の機会となることやバス代高騰に対応するためです。大山乳業では、見学を中心に、屋外遊具では、愛情たっぷりのお弁当を食べた後、思いっきり遊んだようです。なしっこ館では、なしの試食も!「めっちゃ美味しかった!」と教えてくれました。余野小学校の友だちとも一緒に遊んだり、お弁当を食べたり、おしゃべりをしたりした話も聞きました。少しバス酔いした人もいたようですが、ひどくしんどくなることもなく、全員無事に帰ってこれて何よりでした。早朝よりお弁当作りや準備、大変ありがとうございました。





真庭高校生による「キーホルダー教室」を開催しました ～令和7年10月20日(月)～

「授業の一環で小学生に教室を開きたい」という高校生の思いから開催することができた「キーホルダー教室」。真庭高校より4名の高校生が来てくれました。事前打ち合わせや準備、説明、進行、困ったときのお助け、後片付け・・・と大活躍の高校生たちでした。事前に選んでいたアルファベットにレジンとドライフラワーを入れ、固まったら金具をつけてもらいました。一人一人違う、世界にたった一つのオリジナルキーホルダーの完成です。どれも素敵に仕上がっていました。優しく親切に教えていただき、ありがとうございました。運動会に続き、高校生と繋がりを持つことができた貴重な時間でした。11月14日(金)には、同じく真庭高校生による木工教室が開催されます。これも楽しみです。



音楽アウトリーチコンサート ～令和7年10月21日(火)～

優れたアーティストが学校に出向き、豊かな感受性や表現力、想像力を育むために、真庭市と真庭エスパス文化振興財団が力を注いでくださっています。

今年度は、チェロ奏者の奥田なな子さんとピアノ奏者のゴウ芽里沙さんが来てくださいました。保護者、地域の方もご参加くださり、多目的ホールには20名を超える人々が集い、大盛況でした。「白鳥」等、知っている曲の演奏をはじめ、チェロのしぐみを教えてくださったり、ピアノクイズをしてくださったりしました。チェロ体験もさせていただきました。多目的ホールが素敵な音楽に包まれ、素敵な時間を参加者みんなで共有したアウトリーチコンサートとなりました。奥田さん、ゴウ芽里さん、真庭エスパス文化財団およびスポーツ文化振興課のみなさん、ありがとうございました。

【児童の感想より(抜粋)】

- ・白鳥をきいたら、夜の時に川に白鳥が泳いでいてそこに光がさしているみたいに思いました。
- ・わたしが一番好きな曲は、白鳥です。理由はえんそうしてもらった時にとてもきれいな曲だったので一番気に入りました。

放映された「世界一大きな絵」の番組。MIT様のご厚意によりDVDをいただきました。2階パノコンルームで視聴できます。お気軽にお越しください。